

津波ハザードマップ

凡 例

- ① ① 避難所**
(●は津波避難ビルの役割も果たす)

1 津波避難ビル

— 広域緊急交通路(大阪府が選定)
— 地域緊急交通路(貝塚市が選定)
緊急交通路は車両の交通規制が行われることがあります。

! 避難時危険箇所(地下道)

— 防潮堤

■ 水門 ● 門扉 ▲ 樋門

— 市境界 — 鉄道 - - - JR

ⓧ 警察署・交番 ⓧ 消防署・消防団

+ 市災害医療センター

+ 災害医療協力病院

H ヘリポート

- - - 海抜5m - - 海抜10m
— — 海抜15m

地図中○○mとあるのは、その地点の海抜を表示しています。

津波による浸水の深さ

- 0.3m未満の区域
 - 0.3~1.0m未満の区域
 - 1.0~2.0m未満の区域
 - 2.0~3.0m未満の区域
 - 3.0~4.0m未満の区域

貝塚市には地震発生後約90分で津波が到達します!(震源地によってはそれより早く到達する可能性もあります)強い揺れを感じたら側に避難しましょう。

この津波浸水予測範囲は、地震の影響で防潮堤が液状化により沈下したり、水門等が閉まらなかつた場合を想定した津波浸水予測計算結果(平成25年8月大阪府公表)に基づいて作成したものです。

- 地震の規模：マグニチュード9.1
 - 地震の震源：四国～和歌山県沖
 - 想定最大津波水位：3.7m[TP(東京湾平均海面)を0mとした津波水位]
台風期朔望平均満潮位0.9mを含む

図中の浸水予測範囲は、あくまで予測結果に過ぎません。浸水範囲以外のところも浸水することがありますので十分注意してください。



**津波の危険を感じたら、
より早く、より高い場所へ避難しましょう。**

浸水が予想される区域外への避難が困難な場合は津波避難ビルや
鉄筋コンクリート建物の3階以上に避難してください。